



①1月31日(土) ②場 村営スキー場

努力の成果を発揮

ジュニアスキーバッチテストが開催されました。このバッチテストはポールが設置されたコースを、基準タイム以内で滑ることができるかを計測するもので、受講する級によって異なるポールの数で実施されました。受講者は緊張しながらも、丁寧にかつ早く滑ることを意識し滑走しました。その結果、受講者全員が見事合格することができました。



①1月30日(金) ②場 農村環境改善センター

日本の食文化を体験

餅つき体験会が開催され、村内で働く外国人技能実習生のほか、お手伝いとして参加した村民を合わせて約170名が参加しました。参加者からは、「とても楽しくて面白い体験でした」「畑を耕すよりも大変!」といった感想がありました。慣れない作業に戸惑いながらも、杵と臼を使った餅つきを楽しみながら、日本ならではの文化に触れる貴重な時間を過ごしました。



①1月18日(日) ②場 役場敷地内

遊びながら学ぶ初めてのスキー

未就学児の親子を対象にスキー体験会が開催されました。スキーをする際の服装や道具の確認を行い、保護者はスキー板にワックスをかけ、子どもたちは自分の力でスキーを着けたり、歩いたり、緩やかな坂道で滑る練習を行いました。初めてのスキーで疲れた様子も見られましたが、練習を重ねていくうちに、上手に滑れるようになりました。



①1月16日(金)・21日(水)・23日(金)・28日(水) ②場 村営スキー場

ナイタースキースクール

小学生を対象としたスキースクールが4日間開催されました。今年度は天候にも恵まれ、一度も中止になることなくスキースクールを実施することができました。スクールには小学生15名が参加し、スキーを滑る際の基本的な姿勢の確認やポールを使用したターン切り替えなどを行いました。



①2月13日(金) ②場 交流センター

ベトナム旧正月を祝う会

村内で外国人技能実習生として働くベトナム人のほか、漁業や酪農関係者の日本人合わせて109名が参加しました。村に務めるベトナム人の国際交流員2名が司会進行し、会食ではバイキング形式で様々なベトナム料理「ベトナム風混ぜ麺」や「おこわ」などが振る舞われました。また、国際交流員と実習生によるダンスやピアノ等のパフォーマンスやカラオケ、いす取りゲームなどを楽しみながら旧正月を祝いました。



①2月9日(月) ②場 浜鬼志別

地域で育む冬の思い出

浜鬼志別自治会主催による、「浜鬼志別冬そり祭り」が開催されました。イベント直前までは雪が降りしきり中の開催になるかと思われましたが、開会式が始まる頃には天気も回復し、子どもたちは元気にそり滑りやチューブ滑り、お菓子まきを楽しんでいました。滑り台は、国土開発工業株式会社様と株式会社福永産業様が制作を行っており、その功績を称えて村と自治会から感謝状が贈呈されました。



①1月28日(水) ②場 鬼志別保育所

雪に負けず元気いっぱい

2歳から6歳までの子どもたちによる雪中運動会が開催されました。開会式では年長児代表による選手宣誓と体操が行われ、雪玉リレー・玉拾い競争・そりでおひっこしの3つの競技を行いました。今年は雪が降る中での開催となりましたが、子どもたちは大きな声でチームの仲間を応援しながら一生懸命競技に取り組みました。



①1月27日(火) ②場 役場

心を込めて書き上げた作品たち

新春書初め展が開催され、応募のあった児童生徒45名の作品が役場1階ロビーにて1月27日～2月16日まで展示されました。日本の伝統文化・正月行事である書き初めを行い、自己の感性や表現力・集中力を高めることを目的として行われています。「元旦」や「文化」など、新年の思いを込めて、一文字一文字、力強く書き上げられた作品が並びました。